

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

2年 名前を見て ちょうだい 📖 55～70

- 出来事の順序に気をつけて読み、場面の様子や人物の気持ちを想像します。
- 1 えっちゃんがお母さんに赤い帽子をもらっ。
- 青い糸で、名前がししゅうしてある。
- 2 帽子が風で吹き飛ばされる。
- 野原できつねが拾う。...
- 畑で牛が拾う。...
- 林で大男が拾う。...
- 3 帽子を取り戻す。

名前を見て
ちょうだい。

1年 どう やって みを まもるのかな 📖 70～77

- 敵から上手に身を守ることでできる動物たちの様子について書いた説明文です。
- 挿絵を参考にしながら、
- やまあらし、あるまじろ、すかんくの、それぞれの体の特徴と身の守り方を読み取ります。

生き物について書かれた
易しい読み物に、ふだんから
触れる機会を
持たせるとよいでしょう。



問いかけの文と、それに
答えている文とを
読み分けることが大切だよ。



4年 走れ 📖 59～73

- 春の運動会のはふよにとつてゆうつつな日。足がおそいこと以外にも理由があるから...。家族と運動会をめぐる物語です。
- 場面ごとの出来事を確かめましょう。
- 運動会の朝
- のぶよと弟のけんじの会話。
- 「お母ちゃん、...来てくれるよね。」
- 間に合わなかったお母ちゃん
- けんじはお弁当も気に入らない。
- のぶよが走り始める
- 体がどんどん重くなる。
- ↓そこに二つの声がかぶさる。
- 行動や会話など気持ちが表れている言葉に注意して、人物の気持ちを読み取ります。

3年 はりねずみと金貨 📖 65～79

- 金貨を見つけたはりねずみの物語です。
- 場面ごとに内容を整理し、あらすじをまとめます。
- 1 森の奥で、金貨を拾ったはりねずみのおじいさんは、冬ごもりのきのこを買ったために使おうと考えた。
- 2 すると、りすが、
- 「きのこはただであげるから、靴を買ったら?」
- 3 靴屋を探していると、
- からすが、
- 「靴は作ってやるから、金貨は靴下に使いなよ。」...
- みんな、おじいさんに親切だね。



6年 風切るつばさ 📖 58～68

- 仲間から孤立し絶望していくアネハツルのクルルの心情と、それを立ち直らせたカララの行動を描いた物語です。
- 物語を四つの場面に分けて、登場人物の気持ちの変化を読み取ります。
- 1 若いアネハツルの群れがキツネにおそわれた場面。(事件の発端)
- 2 仲間はずれにされたクルル。
- 3 飛べなくなったクルル。
- 4 風を切るつばさの音を残して、南に向かって飛んでいくクルルとカララ。
- 仲間の言葉や行動に、クルルの気持ちや様子はどのように変わるのかな。



5年 世界でいちばんやかましい音 📖 56～73

- やかましいのが大好きな王子様の誕生日。みんなでお祝いする「世界でいちばんやかましい音」をめぐる物語です。
- 物語の構成をとらえましょう
- 1 ガヤガヤという都...世界じゅうのどこよりもやかましい。
- 2 とりわけやかましいのは王子様。誕生日には「世界でいちばんやかましい音が聞きたい」。
- 3 王子様の誕生日。全世界の人がいっせいにさけぶことになっているが...
- 4 王子様は初めて聞いた音をすつかり気に入る。
- 出来事や人物の行動・気持ちをとらえよう。

